



かんたん操作ガイド

ビジネスプロジェクター EB-810E EB-815E



本書では、以下を説明しています。

- ・ 映像を投写して使い始めるまでの基本操作
- 基本操作に関するトラブルの対処方法

本機には以下のマニュアルが用意されています。 本機を安全に正しくお使いいただくために、マニュアルをよくお読みください。

PDF (ホームページからご覧ください)	冊子(本機に同梱されています)
 ・取扱説明書 ・設置工事説明書 	 ・安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内 ・かんたん操作ガイド(本書)
epson.jp/lcp/doc/	
■ お使いのプロジェクターの 型番を選んでマニュアルを ダウンロードしてください。	

HFAdvance[®]

本製品は下記 URL に掲載されている HEVC 特許の1つ以上の請求項の 権利範囲に含まれています。 patentlist.accessadvance.com



目次

同梱品2
設置する3
接続する4
接続する(マルチプロジェクション時)6
投写する8
困ったときに14
コンテンツ再生モードで投写する26
お問い合わせ先

同梱品



プロジェクター本体



電源コード (日本国内専用)約1.8m



リモコン +単3型乾電池



MyEPSON 会員登録のご案内 +正式保証書発行のお願い

設置する

本機は以下の設置方法でお使いいただけます。

机に置く



水平で安定した机や床に置いてお使いく ださい。

天井や壁に取り付ける



オプションの金具または VESA 規格 (100 × 200mm) に準拠した金具で取り付け てください。 使用できるオプション品は『取扱説明書』 をご確認ください。

金具を使った取り付け工事には特別な技 術が必要です。取り付け工事は専門業者 にご依頼ください。

▲ 警告

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。設置するときは、プロジェクターの周囲に以下の空間を確保してください。



▲ 注意

必要に応じて、プロジェクターは2人で運搬してください。 落下により破損やけがの原因となることがあります。

接続する

接続する機器に応じて、必要なケーブルを接続します。 接続についての詳細は、『取扱説明書』「プロジェクターを接続する」をご覧ください。





接続する (マルチプロジェクション時)

複数のプロジェクターの映像を繋げて大画面に投写することができます。 マルチプロジェクションについての詳細は、『取扱説明書』「マルチプロジェクション機能」 をご覧ください。

デイジーチェーンでの接続

HDMI1 ソースを選択している時のみ、HDMI Out 端子から映像が出力されます。



分配器での接続





本機の電源を入れる



- 操作つまみをスライドしてカバーを外します。
- 2 コンピューターを本機に接続します。
- 3 本機とコンセントを電源コードで接続します。
- リモコンの電源ボタン【(少】を押して、本機の電源を入れます。 「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケーター(□)が青色に点滅します(ウォームアップ状態)。ウォームアップが終わると、ステータスインジケーター(□)が青色に点灯します。
- 5 コンピューターの電源を入れます。 ホーム画面が表示されたら、投写したい入力ソースを選択します。 映像が映らない場合は、「映像が映らない」16ページをご確認ください。





- ・投写中に投写窓をのぞかないでください。
- 必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行います。
 また、接地接続を外すときは必ず、電源プラグを電源から外したあとに行ってください。

9

初期設定ウィザードを設定する

本機をお買い上げいただいて初めて電源を入れるときは、初期設定ウィザード画面が表示されます。

画面の指示に従って各設定を行ったら、ウィザードを終了してください。



映像の位置と高さを調整する

映像の大きさや傾きは、投写面に対するプロジェクターの前後の位置や向きで調整できます。



ピントを調整する





操作つまみをスライドしてカバーを外 します。

フォーカスレバーを動かして、画面 の文字が読めるようにピントを合わ せます。

映像の形を調整する

カメラ機能付きスマートフォンまたはタブレットでEpson Setting Assistantを使うと、上 辺や画面全体などの細かなゆがみを自動で補正することができます。[設置] メニュー 内で表示されるQRコードを読み取って、アプリをダウンロードしてください。



本機の電源を切る

投写を終了するときは、リモコンの電源ボタン【(小) を 2回押して本機の電源を切ります。 「ピッピッ」と確認音が2回鳴った後、ステータスイン ジケーター(□)が消灯します。



ホーム画面を使うと、入力ソースの切り替えや、よく使う機能を簡単に設定できます。 本体またはリモコンの【Home】ボタンを押すとホーム画面が表示されます。



- 投写したい入力ソースを選択します。 現在投写している入力ソースには右上にチェックマークが付きます。 現在の入力映像のプレビュー画像がサムネイル表示されます(コンテンツ再生モード時のUSB 入力ソース以外)。
- 2 投写画面を分割して、2つの異なる機器の画面を同時に投写します。
- 3 プロジェクターから投写している画面を、同じネットワーク上の他のプロジェク ターに配信します。
- 4 接続ガイドを表示します。お使いのデバイスに応じた接続の方法を確認できます。
- ⑤ 以下の機能の設定を変更します。(表示される項目は設定により異なります。)
 - ・カラーモード
 - ・明るさレベル
 - 音量
 - ・幾何学歪み補正 ([Quick Corner]が利用できます。)
 - ・アスペクト
 - 再設置



入力ソースからの信号がない状態で本機の電源を入れたときは、自動的 にホーム画面が表示されます。



困ったときに

本機を使用中に起こりうるトラブルと、その対処法について説明しています。 本書に記載のないトラブルが起きたときは、『取扱説明書』「困ったときに」をご覧ください。 トラブルが解決しないときは、お問い合わせ先に記載の連絡先へご相談ください。



14

電源が入らない、予期せず切れる



映像が映らない





- ・必要なケーブル(電源コード、接続機器用のケーブル)がすべて接続されていることを確認します。
- ・すべてのケーブルのコネクターが、端子の奥までしっかり差さっていることを確認します。
- ・スイッチャーや AV アンプ、USB ハブなどを介して接続しているときは、本機と接続機器を直接接続してください。
- ・HDMI ケーブルで接続しているときは、より短い HDMI ケーブルで接続し直してください。



接続機器の状態を確認する

機器の電源が入っていることを確認します。 必要な場合はプレゼンテーションや動画の再生を開始します。

ノート型コンピューターを接続しているとき

- ・コンピューターの出力設定を切り替えます。
 - Windows をお使いの場合は、キーボードの Windows キーを押しながら P キーを押します。
 - Mac をお使いの場合は、[システム環境設定]から、ディスプレイをミラーリング する設定に変更します。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧くだ さい。
- ・入力映像が黒一色でないことを確認します。
- コンピューターがスリープモードでないことを確認します。
- USB ケーブルで接続しているときは、ドライバーが正しくインストールされていることを確認します。
- ・USB ケーブルで接続しているときは、入力ソースを USB に切り替えて、USB ケーブル を一度抜いて再度接続します。



すべて確認しても映らないときは

- ・本機の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
 ⇒「本機の電源を切る」11ページ
 - ➡「本機の電源を入れる」9ページ
- ・接続している機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- コンピューターを接続しているときは、コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。
 詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

リモコンで操作できない





映っている映像がおかしい



- ・ [映像調整] メニューの [シャープネス] を選択して、投写映像のシャープ感を調整します。
- ・本機の投写窓を掃除します。詳しくは『取扱説明書』「投写窓を清掃する」をご覧ください。
- コンピューターの映像を投写しているときは、本機の対応解像度に合わせて解像度を変更します。



映っている映像がおかしい

⚠ 注意

本機を固定設置しているとき に次の現象が発生した場合は、 本機を設置した専門業者によ る対応をお勧めします。 映像調整を行うことで、本機 設置時の設定をリセットして しまう可能性があります。

- ・映像がゆがむ
- ・映像が小さい / 大きい
- ・ 映像の位置がおかしい



- スクリーンと平行になるように、本機の設置位置を調整 します。
- •[設置]メニューの[幾何学歪み補正ウィザード]から、 画面の指示に従って映像を補正します。
- その他の補正機能を使って調整することもできます。詳しくは『取扱説明書』「映像の形状を補正する」をご覧ください。
 - ・ Quick Corner 機能:コーナーの形状を調整します。
 - 湾曲補正機能:曲面に合わせて映像のゆがみを補正します。
 - ポイント補正機能:部分的に発生するゆがみを補正します。



インジケーターの見方

インジケーターは、本機の状態をお知らせします。 ★ ▮:橙色 ○□□:青色 以下の表でインジケーターの色と状態を確認し、 必要な対処を行ってください。 :点滅 無線 LAN インジケーター(奈)の見方に □□□ :消灯 □□□□ : 状態依存 ※ ついては、『取扱説明書』「インジケーターの見方」 ※エラー時のプロジェクター本体の状態によって、 をご覧ください。 点灯、点滅、もしくは消灯しています。 ■ 正常動作時のインジケーターの状態 スタンバイ中/ ウォームアップ中/ スリープモード中/ シャットダウン中/ クールダウン中 ネットワーク監視中



■ 異常 / 警告時のインジケーターの状態



ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先 に記載の連絡先にご相談ください。



ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先 に記載の連絡先にご相談ください。

高温警告	高温異常
 ・障害物や壁などで吸排気口がふさがれていないか確認します。 ・エアフィルターの清掃または交換をします。 	電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げ ます。

障害物検知警告	障害物検知異常
投写窓付近に障害物があるときは障害物を取 り除きます。障害物がない時は障害物検知セ ンサーを掃除します。	投写窓付近に障害物がないときは、本機の電 源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、 お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に 記載の連絡先にご相談ください。



エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。

・エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。

・問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお 問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売 店またはお問い合わせ先に記載の連絡先へご相談ください。

コンテンツ再生モードで投写する

本書では、コンテンツ再生モードで投写するまでの流れを説明します。 より詳しい手順や設定方法は『取扱説明書』「コンテンツ再生モードで投写する」をご覧くだ さい。



再生するコンテンツを作成する

再生するコンテンツは、以下のいずれかの方法で作成します。



コンピューター向けアプリケーションで作成する

Epson Projector Content Manager を使います。写真や動画を使ってプレイリ ストを作成して、USB メモリーに保存できます。 以下の Web サイトからダウンロードしてください。 epson.jp/download

アプリケーションの使い方は『Epson Projector Content Manager 操作ガイド』 をご覧ください。



Web ブラウザーを使って作成する

Epson Web Control を使います。作成したプレイリストは、プロジェクターに 接続されている USB メモリーに、ネットワーク経由で直接保存できます。 詳しくは『取扱説明書』「Epson Web Control を使ってプレイリストを作成する」 をご覧ください。



iOS のモバイルデバイス向けアプリケーションで作成する

Epson Creative Projection を使います。豊富なテンプレートを使って簡単にオ リジナルコンテンツを作成できます。 App Store からダウンロードしてください。App Store へ接続する際の通信料 はお客様の負担となります。



コンテンツを投写する

📘 サイドカバーを開けて、本機のUSB-A端子に、USBメモリーを接続します。



必要に応じて、作成したコンテンツをあらかじめUSBメモリーに保存してください。

- 2 本機の電源を入れます。
- <mark>3</mark> リモコンの【USB】ボタンを押します。



コンテンツの再生が始まります。

お問い合わせ先 お問い合わせの前に サポート情報サイト FAQ(よくあるご質問) 最新ソフトウェア、製品マニュアルなど、 困ったときの対処方法を 製品のサポート情報満載のサイトです。 分かり易く説明しています。 epson.ip/support/ epson.jp/fag/ 製品に関するご質問・ご相談/運用支援 営業日、営業時間、有料サービスの詳細はサポート情報サイトでご確認ください。 LINEまたは ▶ メールで相談する ✔ Webチャットで相談する epson.jp/mail/ 自動応答は • 電話で相談する 24時間365日 いつでも受付 プロジェクターインフォメーションセンター epson.ip/linespm/ 050-3155-7010 対象製品など修理メニューの詳細はウェブサイトでご確認ください。 epson.jp/shuri/ 引取修理サービス 出張修理サービス ご指定の場所へサービスエンジニアを派遣し、 ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺い その場で修理するサービスです。 するサービスです(有償)。 Web で申し込む Web で申し込む epson.jp/119/ epson.jp/door/ 電話で申し込む 電話で申し込む 050-3155-8600 050-3155-7150 消耗品のご購入 お近くのエプソン商品取扱店またはエプソンダイレクトショップでお買い求めください。 ご購入相談・ご注文窓口 エプソンダイレクトショップ 0120-956-285 epson.jp/shop/ ショールーム 会員制情報提供サイト(MyEPSON) ユーザー登録していただくと、お客様に商品の最新情報や 最新のエプソン商品を実際にお試し 活用のためのヒントをお届けいたします。 いただけます。 mvepson.jp/ epson.jp/showall/ 上記 050 で始まる電話番号は KDDI 株式会社の電話サービス KDDI 光ダイレクトを利用しています。 本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

エプソン販売株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 液晶プロジェクター(B) 2022.03